

2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月9日
東・名

上場会社名 KeePer技研株式会社 上場取引所
 コード番号 6036 URL <http://keepergiken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼Co-COO (氏名) 賀来 聡介
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼CFO (氏名) 山下 文子 (TEL) 0562-45-5777
 定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月9日
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	20,574	20.7	6,101	11.4	6,075	11.0	4,421	11.7
2023年6月期	17,042	18.7	5,475	26.5	5,470	26.5	3,957	27.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	162.02	—	34.5	35.4	29.7
2023年6月期	145.06	—	41.2	40.6	32.1

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	19,284	14,466	75.0	530.08
2023年6月期	15,079	11,151	73.9	408.77

(参考) 自己資本 2024年6月期 14,466百万円 2023年6月期 11,151百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	5,344	△2,561	△1,221	5,137
2023年6月期	3,663	△1,586	△1,226	3,573

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	43.00	43.00	1,173	29.6	12.2
2024年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00	1,364	30.9	10.7
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	53.00	53.00	—	—	—

3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,400	15.9	3,800	14.4	3,800	14.3	2,700	19.3	98.95
通期	24,500	19.1	7,000	14.7	6,950	14.4	4,800	8.6	175.90

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	28,280,840 株	2023年6月期	28,280,840 株
2024年6月期	989,024 株	2023年6月期	1,000,660 株
2024年6月期	27,287,637 株	2023年6月期	27,280,251 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P6「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 財務諸表及び主な注記	8
(1) 貸借対照表	8
(2) 損益計算書	10
(3) 株主資本等変動計算書	12
(4) キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15
(持分法損益等)	18
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年7月1日から2024年6月30日）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復などにより、緩やかな回復基調を示しました。しかし、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社ではKeePerコーティングの品質を従来以上に維持・向上させることが、業績の向上のみならず、将来の発展を目指したKeePerブランドの確立において最も重要であると考えています。

2024年6月期 実績

当事業年度（2023年7月1日から2024年6月30日）におきましては、売上高 205億74百万円（前年同期比20.7%増加）、営業利益61億01百万円（同11.4%増加）、経常利益60億75百万円（同11.0%増加）と最高益を更新する事が出来ました。

事業分野別の状況は次のとおりです。

【キーパーLABO運営事業】

キーパーLABO運営事業の売上は111億81百万円（前年同期比15.8%増加）、営業利益は22億72百万円（同14.0%減少）となりました。

増収減益になった理由は、旺盛な需要に応えるための積極的な店舗拡大と人員強化による先行的な人件費増加が影響しています。今期は15店舗（FC1店舗込み）の出店を実施し、2025年6月期には30店舗以上、さらに来期以降も店舗拡大を計画しています。これは将来の大きな成長を見据えた先行投資です。

また、首都圏にあるキーパーラボ店舗のキャパシティが需要に追い付かず、「予約が取れない」など、お客様に大きなご迷惑をおかけしていました。そのため、昨年度から東京都・埼玉県・千葉県にある既存店舗の近隣に戦略的な出店を行いました。

東京都

埼玉県

既存店	近隣新規店	既存店	近隣新規店
世田谷店	用賀店	大宮店	東大宮店、上尾店
昭島店	福生店	浦和美園店	越谷店
三鷹店	府中店		
小平店	武蔵村山店		
松戸東店	八柱店		
葛飾店	市川店		

この新規出店により、既存店舗は適切にお客様の需要に応えることができるようになりましたが、既存店舗は一時的に前年比を割る現象が起きています。ただし、これまで同様、一定期間が経つと既存店舗においても正常な成長に戻る見通しです。

(Trexキーパー発売開始)

これまでのKeePer最高峰コーティングであるEXキーパーよりも上位に位置する新しいコーティング「Trexキーパー」を2024年1月に販売開始し、6月末までに72台の施工となりました。Trex施工店舗数を増やすのに若干時間がかかっていましたが、「Trexキーパー専用ブース設置」と「Trexマイスターの技術者」の準備が整い始め、2024年6月末において22店舗で施工出来るようになっております。

また、Trexキーパーの導入により、従来の最高価格商品であったEXキーパーがむしろ買いやすい商品と感じられ、お客様にとってより魅力的な商品として受け入れられることで、松竹梅効果によるEXキーパーの施工も伸びることが期待できます。

(各キーパーコーティングの施工台数状況)

EXキーパーは新車登録台数減少の影響から前年比9.9%増加(12,602台)にとどまりましたが、ダイヤモンドキーパーシリーズは中古車や既販車の施工が増加し、51,638台(同15.9%増)となりました。同じく既販車施工の多いフレッシュキーパーとクリスタルキーパーの施工数合計も84,204台(同12.7%増)となりました。また、各キーパーコーティングのメンテナンスは前年比18.4%増となるなど、今乗っている車をキレイに快適に保つための既販車向けの需要が上がっています。その結果、総来店台数は670,350台(前年同期比9.8%増)、平均単価は16,884円(同5.7%増)となりました。

普通・小型車乗用車 新車登録台数

	新車登録台数	前年比
2022年6月期	2,086,161	—
2023年6月期	2,450,526	+17%
2024年6月期	2,127,352	-13%

(キーパーラボ新店開発)

新店開発においては、14店舗の新規出店となりました。当初計画では15店舗を予定していましたが、2024年6月にオープン予定であった神戸岡場店が許認可手続きの遅れにより、8月にずれ込んでおります。

店舗名	所在地	オープン日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
府中店	東京都府中市	2023年8月9日	120 (107)
平野店	大阪府大阪市	2023年9月29日	121 (108)
岡山店	岡山県岡山市	2023年11月22日	122 (109)
西春店	愛知県北名古屋市	2024年1月19日	123 (110)
早良店	福岡県福岡市	2024年1月20日	124 (111)
越谷店	埼玉県越谷市	2024年1月24日	125 (112)
谷和原インター店	茨城県つくばみらい市	2024年3月20日	126 (113)
宇都宮店	栃木県宇都宮市	2024年3月27日	127 (114)
神戸玉津店	兵庫県神戸市	2024年4月21日	128 (115)
奈良大安寺店	奈良県奈良市	2024年4月24日	129 (116)
岸和田北店	大阪府岸和田市	2024年5月22日	130 (117)
市川店	千葉県市川市	2024年6月22日	131 (118)
上尾店	埼玉県上尾市	2024年6月26日	132 (119)
八柱店	千葉県松戸市	2024年6月29日	133 (120)

また、キーパーラボFC店については、「青葉台店」が「熊本長嶺店」に県を跨いで移転しています。FC店舗数は合計13店舗で、前年比に変化はありません。2024年6月期末時点でのキーパーラボ店舗数は133店舗となりました。

【既存店の改装】

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる作業場への改修	洗って仕上げる作業場を増設	休業日数
福井大和田店	福井県	4→9台	4台分		15日
鳴海店	愛知県	4→8台	4台分		9日
大宮店	埼玉県	4→7台		3台分	4日
浦和美園店	埼玉県	3→5台	3台分		
尼崎店	兵庫県	4→6台			12日
郡山店	福島県	6→10台	3台分		10日
246玉川店	神奈川県	3→6台			
高針店	愛知県	3→5台	4台		14日
上溝店	神奈川県	3→6台			
八王子店	東京都	6→10台			
市原店	千葉県	3→7台			
福岡春日店	福岡県	4→6台		1台分	85日 (全面改装)
小牧山店	愛知県	4→6台			
交野店	大阪府	4→7台			
東浦和店	埼玉県	5→7台			
彦根店	滋賀県	4→8台			14日
東郷店	愛知県	4→8台	5台分		30日

【キーパー製品等関連事業】

キーパー製品等関連事業の売上高は93億93百万円（前年同期比27.2%増加）、セグメント利益は38億28百万円（同35.1%増）と大幅な増収増益になりました。

キーパープロショップを中心とした「アフターマーケット」では、前年同期比13.7%増加しました。好調の要因は、ガソリンスタンドが中心のキーパープロショップで「フレッシュキーパー」の施工台数が、前年の30万台から約67万台に123%増加したためです。

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、前年同期比78.4%増加と大きく飛躍し、製品等関連事業売上の構成比が前期18.1%から25.3%まで伸長しました。

「車以外のサービス」も前年同期比51.4%増加と飛躍しており、構成比が4.6%まで拡大してきました。

「海外」事業では、2024年2月19日に東南アジアの中心基地となるシンガポールにおいて、KeePer技研がマジョリティ出資する合弁会社『SG KeePer』を設立しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ42億4百万円増加し、192億84百万円となりました。これは主として、現金及び預金が15億63百万円増加、建物が14億70百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ8億89百万円増加し、48億17百万円となりました。これは主として、買掛金が2億73百万円増加、未払法人税等が73百万円増加、契約負債が45百万円増加、借入金が48百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ33億15百万円増加し、144億66百万円となりました。これは主として、利益剰余金が当期純利益により44億21百万円増加した一方で、配当により11億73百万円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べ15億63百万円増加し51億37百万円(前事業年度末比43.8%増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は53億44百万円(前事業年度比16億80百万円増加)となりました。収入の主な内訳は税引前当期純利益60億65百万円、減価償却費4億46百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額16億34百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25億61百万円(前事業年度比9億75百万円増加)となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出21億41百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は12億21百万円(前事業年度比5百万円減少)となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出48百万円、配当金の支払額11億73百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率	68.2	60.6	67.8	73.9	75.0
時価ベースの自己資本比率	244.8	861.1	812.0	882.8	580.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.9	0.2	0.2	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	184.0	642.4	821.2	2,750.7	2,938.33

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

2 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

2025年6月期 見通し

新年度（2024年7月1日から2025年6月30日）の見通しは、売上高245億円（前事業年度比19.1%増加）、営業利益70億円（前事業年度比14.7%増加）、経常利益69億5千万円（前事業年度比14.4%増加）、当期純利益は48億円（前事業年度比8.6%増加）の増収増益を見込んでおります。

事業分野別の見通しは次のとおりです。

【キーパーラボ運営事業】

今期において新店30店舗を計画していることに加え、KeePerの需要拡大と共に全国各地に広がっているキーパープロショップやカーディラーへのサポート強化を図ります。

(今後の新規出店予定)

現在予定されている新規出店は下記のとおりです。

店舗名（仮称）	所在地	オープン予定日
神戸岡場店	兵庫県神戸市	2024年8月
堺西店	大阪府堺市	2024年8月
広島西店	広島県広島市	2024年9月
豊田元町店	愛知県豊田市	2024年9月
品川店	東京都品川区	2024年9月
黒川店	愛知県名古屋市	2024年10月
横浜あざみ野店（FC）	神奈川県横浜市	2024年10月
長崎時津店（FC）	長崎県西彼杵郡	2024年10月
神戸垂水店（FC）	兵庫県神戸市	2024年10月
金沢店	石川県金沢市	2024年11月
札幌西店	北海道札幌市	2024年11月
仙台宮城野店	宮城県仙台市	2024年11月
大分店	大分県大分市	2024年11月
宇都宮店（FC）	栃木県宇都宮市	2024年11月
野並店（FC）	愛知県名古屋市	2024年12月
稲沢店	愛知県稲沢市	2025年1月
岡崎店	愛知県岡崎市	2025年1月
横浜戸塚店	神奈川県横浜市	2025年2月
平子橋店	愛知県名古屋市	2025年2月
盛岡店（FC）	岩手県盛岡市	2025年2月
芦屋店	兵庫県神戸市	2025年2月
藤枝店	静岡県藤枝市	2025年2月
松本店	長野県松本市	2025年2月
佐野店	栃木県佐野市	2025年3月
東京北店	東京都北区	2025年4月
川崎店	神奈川県川崎市	未定
名取店	宮城県名取市	未定

上記の通り、候補地の確保がほぼ出来上がっており、出店時期を遅らせないよう着実に店舗開発を進めていきます。

(今後の既存店改装予定)

店舗名	所在地	ブース数の増設	その他改修	休業日数
松阪店	三重県	2→11台		
小平店	東京都	4→9台		30日
松戸店	千葉県	4→7台		
足立店	東京都		既存ゲストルームの拡張	20日
草加店	埼玉県	6→8台		
中川店	愛知県	4→9台		
安城店	愛知県	5→9台		30日
四日市店	三重県	3→5台		

また、お客様の利便性を図るため、「LABOアプリ」を2024年中に上市出来るよう準備を進めています。加えて、「予約システム」の利便性向上と新機能追加、そして効率的な運営を行うため、「新POSシステム」の稼働も控えております。

店舗拡大には組織体制の強化が重要です。うまく機能するようになれば、さらなる店舗拡大が可能となります。店舗スタッフとの密なコミュニケーションを通じてお客様ニーズを発掘し、人材育成に力を入れることで、技術・知識を軸としたサービスの向上を図っていきます。

最後に一番重要な店舗スタッフのマインドの部分である「お客様喜んでいただけますか？」のLABOの大切なカルチャーをしっかり継承し、「顧客満足」と「従業員満足」の同時実現を継続してまいります。

【キーパー製品等関連事業】

KeePerコーティングのニーズ拡大に合わせて、導入店舗の増加および新規開拓を積極的に進めてまいります。

キーパープロショップを中心とした「アフターマーケット」においては、フレッシュキーパーをさらに拡大させる営業活動が大きな軸となります。

「新車マーケット」では、純正採用されているスバル、トヨタ、ホンダ、三菱の新車販売店に向けて、KeePerコーティングの拡大が営業活動の主要な軸となります。また、KeePerの純正採用を新車自動車メーカーに拡大する営業活動も進めています。

「車以外のコーティング」では、大手ビジネスホテルにおいて、「お風呂キーパー」が全室採用されております。今後も家庭用品周りのラインナップ製品のさらなる充実を進めてまいります。モバイル向けのコーティングは「KeePerコーティング for docomo select」だけでなく、他の通信事業者や家電量販店への拡大も進めてまいります。

「海外」においては、初のキーパーラボを2024年8月1日に「KeePer LABOシンガポール店」としてオープンさせました。シンガポールの自動車業界からも注目を浴び、KeePerを導入したい企業・店舗が出始めております。また、東南アジア各国からもKeePer導入の具体的な商談が増えており、シンガポールでの事業発展に伴い、東南アジアを中心にKeePer LABOの店舗と市場の拡大を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,825	5,137,452
受取手形	185,863	193,628
売掛金	1,356,868	1,637,166
商品	1,163,271	1,120,808
貯蔵品	85,746	123,979
前渡金	200	8,320
前払費用	255,878	254,301
関係会社短期貸付金	-	23,996
その他	53,977	89,661
貸倒引当金	△159	△180
流動資産合計	6,675,471	8,589,133
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,102,480	5,573,389
構築物（純額）	250,830	319,749
機械及び装置（純額）	60,964	44,351
車両運搬具（純額）	33,292	39,933
工具、器具及び備品（純額）	191,094	233,398
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産（純額）	-	295,013
建設仮勘定	76,509	78,793
有形固定資産合計	6,732,008	8,601,463
無形固定資産		
ソフトウェア	74,009	66,133
その他	55,240	77,067
無形固定資産合計	129,249	143,201
投資その他の資産		
投資有価証券	20,364	22,237
関係会社株式	1,000	70,339
関係会社長期貸付金	280,614	462,448
破産更生債権等	-	11
長期前払費用	43,451	44,430
敷金及び保証金	511,654	599,705
建設協力金	277,799	295,013
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	396,797	445,076
その他	10	10
投資その他の資産合計	1,543,152	1,950,732
固定資産合計	8,404,410	10,695,397
資産合計	15,079,882	19,284,531

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	455,905	729,482
1年内返済予定の長期借入金	48,000	48,000
未払金	685,592	682,512
未払法人税等	935,772	1,008,874
未払費用	271,150	355,059
リース債務	-	22,242
賞与引当金	54,859	70,479
契約負債	231,297	277,011
その他	131,440	161,438
流動負債合計	2,814,019	3,355,100
固定負債		
長期借入金	112,000	64,000
退職給付引当金	426,714	493,793
役員退職慰労引当金	270,969	288,243
リース債務	-	272,770
資産除去債務	300,899	339,767
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,114,626	1,462,617
負債合計	3,928,645	4,817,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金		
資本準備金	1,007,224	-
その他資本剰余金	-	1,049,019
資本剰余金合計	1,007,224	1,049,019
利益剰余金		
利益準備金	4,931	4,931
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,978,475	14,226,522
利益剰余金合計	10,983,406	14,231,454
自己株式	△2,189,329	△2,164,590
株主資本合計	11,148,858	14,463,440
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,378	3,371
評価・換算差額等合計	2,378	3,371
純資産合計	11,151,236	14,466,812
負債純資産合計	15,079,882	19,284,531

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高		
商品売上高	7,384,417	9,393,390
サービス売上高	9,658,505	11,181,192
売上高合計	17,042,923	20,574,582
売上原価		
商品売上原価		
商品期首棚卸高	706,006	1,164,573
当期商品仕入高	3,584,141	3,714,487
合計	4,290,147	4,879,061
商品期末棚卸高	1,163,271	1,120,808
売上原価合計	3,126,876	3,758,253
売上総利益	13,916,047	16,816,329
販売費及び一般管理費		
役員報酬	242,185	344,313
給料及び手当	3,310,092	4,120,608
賞与	578,114	790,548
退職給付費用	81,754	93,031
賞与引当金繰入額	54,859	15,619
役員退職慰労引当金繰入額	14,286	17,274
法定福利費	604,118	743,938
福利厚生費	83,718	125,014
旅費及び交通費	329,644	399,052
通信費	48,503	53,915
減価償却費	330,718	446,555
賃借料	848,100	1,027,896
保険料	15,618	18,437
水道光熱費	203,411	217,237
消耗品費	235,495	299,175
租税公課	161,390	209,507
試験研究費	55,394	40,990
運賃及び荷造費	169,932	196,382
事務用品費	16,663	19,749
広告宣伝費	434,594	863,920
支払手数料	235,631	277,468
貸倒引当金繰入額	△106	21
車両費	123,246	137,321
業務委託費	126,017	151,632
リース料	64	42
その他	137,528	105,365
販売費及び一般管理費合計	8,440,978	10,715,020
営業利益	5,475,068	6,101,308

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業外収益		
受取利息	1,667	2,221
受取配当金	502	520
受取手数料	4,281	4,364
その他	1,865	4,030
営業外収益合計	8,317	11,137
営業外費用		
支払利息	1,331	1,818
為替差損	11,076	35,476
雑損失	305	25
営業外費用合計	12,713	37,321
経常利益	5,470,672	6,075,124
特別利益		
固定資産売却益	2,064	2,628
特別利益合計	2,064	2,628
特別損失		
固定資産除売却損	11,997	12,063
特別損失合計	11,997	12,063
税引前当期純利益	5,460,739	6,065,689
法人税、住民税及び事業税	1,531,422	1,693,306
法人税等調整額	△27,966	△48,712
法人税等合計	1,503,456	1,644,594
当期純利益	3,957,283	4,421,095

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	1,007,224	-	1,007,224	4,931	7,866,881	7,871,812
当期変動額							
剰余金の配当						△845,690	△845,690
資本準備金の取崩							
当期純利益						3,957,283	3,957,283
自己株式の取得							
自己株式の処分							
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	3,111,593	3,111,593
当期末残高	1,347,557	1,007,224	-	1,007,224	4,931	10,978,475	10,983,406

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,188,728	8,037,865	1,999	1,999	8,039,865
当期変動額					
剰余金の配当		△845,690			△845,690
資本準備金の取崩		-			-
当期純利益		3,957,283			3,957,283
自己株式の取得	△601	△601			△601
自己株式の処分		-			-
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			378	378	378
当期変動額合計	△601	3,110,992	378	378	3,111,371
当期末残高	△2,189,329	11,148,858	2,378	2,378	11,151,236

当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	1,007,224	-	1,007,224	4,931	10,978,475	10,983,406
当期変動額							
剰余金の配当						△1,173,047	△1,173,047
資本準備金の取崩		△1,007,224	1,007,224				
当期純利益						4,421,095	4,421,095
自己株式の取得							
自己株式の処分			41,795	41,795			
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	△1,007,224	1,049,019	41,795	-	3,248,047	3,248,047
当期末残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	4,931	14,226,522	14,231,454

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,189,329	11,148,858	2,378	2,378	11,151,236
当期変動額					
剰余金の配当		△1,173,047			△1,173,047
資本準備金の取崩		-			-
当期純利益		4,421,095			4,421,095
自己株式の取得	△1,078	△1,078			△1,078
自己株式の処分	25,818	67,614			67,614
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)			993	993	993
当期変動額合計	24,739	3,314,582	993	993	3,315,576
当期末残高	△2,164,590	14,463,440	3,371	3,371	14,466,812

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	5,460,739	6,065,689
減価償却費	330,718	446,555
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△119	21
契約負債の増減額 (△は減少)	67,770	45,713
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	55,800	67,078
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,286	17,274
受取利息及び受取配当金	△2,169	△2,741
為替差損益 (△は益)	△908	△1,276
支払利息	1,331	1,818
固定資産除売却損益 (△は益)	9,932	9,434
売上債権の増減額 (△は増加)	△216,462	△288,063
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△474,521	4,230
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,641	273,576
前払費用の増減額 (△は増加)	△65,998	1,577
未払金の増減額 (△は減少)	△17,839	116,523
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,613	83,909
その他	△28,996	137,094
小計	5,188,591	6,978,416
利息及び配当金の受取額	2,169	2,741
利息の支払額	△1,331	△1,818
法人税等の支払額	△1,525,568	△1,634,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,663,860	5,344,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	-	△69,339
有形固定資産の取得による支出	△1,124,843	△2,141,350
有形固定資産の売却による収入	6,014	5,592
無形固定資産の取得による支出	△39,736	△39,104
関係会社貸付けによる支出	△280,614	△205,829
貸付金の回収による収入	110	90
敷金及び保証金の差入による支出	△159,086	△88,051
敷金及び保証金の回収による収入	11,650	-
建設協力金の支払による支出	△7,000	△44,000
その他	7,325	20,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,586,181	△2,561,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△379,936	△48,000
自己株式の取得による支出	△601	-
配当金の支払額	△845,690	△1,173,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,226,227	△1,221,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	908	1,313
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	852,361	1,563,626
現金及び現金同等物の期首残高	2,721,463	3,573,825
現金及び現金同等物の期末残高	3,573,825	5,137,452

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は販売先別にセグメントを位置付け、一般顧客向け、事業者向けに包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

従って当社は販売先別のセグメントから構成されており「キーパー製品等関連事業」「キーパーLABO運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キーパー製品等関連事業」は自動車のコーティング用ケミカル製品をはじめとした、道具機器類の開発・製造、販売を行っております。「キーパーLABO運営事業」は一般のカー・ユーザー向けに自動車のコーティングを中心とした「車の美装を提供する店舗」をコンセプトとして「キーパーLABO」店舗を運営しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントごとの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、セグメント別の原価に基づいております。

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当事業年度末より、各セグメント損益の業績をより適切に反映させるため、セグメント間の内部売上高又は振替高を市場価格等を勘案して決定する方法からセグメント別の原価に基づく方法に変更するとともに、全社費用の配賦基準の見直し等を行っております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	363,311	—	363,311	—	363,311
仙台営業所	827,571	—	827,571	—	827,571
東京営業所	1,479,654	—	1,479,654	—	1,479,654
横浜営業所	642,059	—	642,059	—	642,059
名古屋営業所	1,585,625	—	1,585,625	—	1,585,625
大阪営業所	854,851	—	854,851	—	854,851
広島営業所	703,727	—	703,727	—	703,727
福岡営業所	927,615	—	927,615	—	927,615
東日本	—	4,969,321	4,969,321	—	4,969,321
西日本	—	4,689,184	4,689,184	—	4,689,184
顧客との契約から生 じる収益	7,384,417	9,658,505	17,042,923	—	17,042,923
外部顧客への売上高	7,384,417	9,658,505	17,042,923	—	17,042,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	318,242	—	318,242	△318,242	—
計	7,702,660	9,658,505	17,361,166	△318,242	17,042,923
セグメント利益	2,833,683	2,641,385	5,475,068	—	5,475,068
セグメント資産	3,040,378	7,094,968	10,135,346	4,944,535	15,079,882
その他の項目					
減価償却費	50,164	280,554	330,718	—	330,718
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	14,570	1,364,141	1,378,712	112,804	1,491,517

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産に含まれる有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費は、報告セグメントに配分しております。

(注3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	487,924	—	487,924	—	487,924
仙台営業所	1,077,192	—	1,077,192	—	1,077,192
東京営業所	1,868,819	—	1,868,819	—	1,868,819
横浜営業所	899,004	—	899,004	—	899,004
名古屋営業所	2,000,251	—	2,000,251	—	2,000,251
大阪営業所	1,008,424	—	1,008,424	—	1,008,424
広島営業所	897,545	—	897,545	—	897,545
福岡営業所	1,154,228	—	1,154,228	—	1,154,228
東日本	—	5,751,146	5,751,146	—	5,751,146
西日本	—	5,430,045	5,430,045	—	5,430,045
顧客との契約から生 じる収益	9,393,390	11,181,192	20,574,582	—	20,574,582
外部顧客への売上高	9,393,390	11,181,192	20,574,582	—	20,574,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	385,608	—	385,608	△385,608	—
計	9,778,998	11,181,192	20,960,190	△385,608	20,574,582
セグメント利益	3,828,684	2,272,623	6,101,308	—	6,101,308
セグメント資産	3,478,118	9,025,754	12,503,872	6,780,658	19,284,531
その他の項目					
減価償却費	67,523	379,031	446,555	—	446,555
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	70,923	3,690,028	3,760,952	74,151	3,835,103

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。なお、全社資産に含まれる有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費は、報告セグメントに配分しております。

(注3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

(持分法損益等)

当社は非連結子会社としてKeePerロジスティクス株式会社及びSG KEEPER PTE. LTD.を有しておりますが、同社は利益基準及び利益剰余金基準に照らして重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	408.77円	530.08円
1株当たり当期純利益金額	145.06円	162.02円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	3,957,283	4,421,095
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	3,957,283	4,421,095
普通株式の期中平均株式数(株)	27,280,251	27,287,637

(重要な後発事象)

該当事項はありません。